

ツマジロウラジャノメ *Lasiommata deidamia interrupta* (Fruhstorfer)

ジャノメチョウ科

特徴

開長52mm程度。翅表は黒色、前翅には白色斑、前後翅に眼状紋をもちます。特に裏面の眼状紋は明瞭。年2回、6月と8~9月に発生。成虫は発生地をはなれず風に乗って滑るように飛びます。

生息環境

溪流沿いの露岩地、崖状に土砂が露出した場所などに生息します。

国や県の分布

北海道・本州・四国に分布。県内では広く分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



クロヒカゲモドキ *Lethe marginalis* (Motschulsky)

ジャノメチョウ科

特徴

開長57mm程度。翅表は明るい黒色。表・裏面に眼状紋をもちます。年1回、7~8月に発生。日中は不活発。夕方開けた空間地を活発に飛翔します。

生息環境

疎林地の開けたところの草地とその周辺、山道沿いの開けた草地などに生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。かなり離散的に分布。県内では南部に多く生息地が見られます。暖地系の種で平地域を中心に分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオヒカゲ *Ninguta schrenckii* (Menetries)

ジャノメチョウ科

特徴

開長70mm程度。翅表は淡い灰褐色、裏面には眼状紋をもちます。年1回、7月に発生。雌は9月上旬まで見られます。日中は樹幹などに静止し、夕方林間の開けた空間、林縁、草地上を飛んでいます。

生息環境

田畑にそそぐ小河川沿いの林地林縁につづく草地、林間の沢筋に生息します。

国や県の分布

北海道、本州に分布。県内では比較的広く分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



シンジュサン *Samia cynthia pryeri* (Butler)

ヤマユガ科

特徴

開長125mm程度の大型の蛾。触角は雌雄ともに櫛歯状。翅表は明るい褐色で前後翅に大きな三日月状紋があります。年1回の発生。幼虫の食樹はシンジュ以外に、ニガキ・キハダ・クルミ・リンゴ・クヌギなど多岐に渡ります。

生息環境

平地域の里山の疎林地、人家周辺、低山域の落葉広葉樹林などに生息します。

国や県の分布

国内全域に分布。県内では中部から北西部の低山域にかたよって分布しますが、個体数は多くありません。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



イブキスズメ *Hyles gallii* (Rottenburg)

スズメガ科

特徴

開長75mm程度の中型のスズメガの1種。触角は棍棒状、色彩は写真のように美しい色彩・斑紋をもちます。年1回、7~8月に発生。個体数がきわめて少なく、成虫を見ることはほとんどありません。生態は未知な点が多く、夕方から夜間に飛翔すると思われます。(写真は幼虫採集の飼育個体)

生息環境

標高1,500~2,000mの高原の草原、林地周辺の草地に生息します。

国や県の分布

北海道・本州・対馬に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



キハダカノコ *Amata germana nigricauda* (Miyake)

カノコガ科

特徴

開長34mm程度。翅表は黒色、大きな白斑紋をもちます。腹部は橙黄色。環節ごとに細い黒帯をもちます。日中よく各種の花に吸蜜に訪れます。

生息環境

おもに標高1,000m以上の高原で、日当たりの良い草地に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州・対馬・西表島に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



コシロシタバ *Catocala actaea* Felder et Rogenhofer

ヤガ科

特徴

開長55mm程度。翅表は前翅は灰黒色、後翅は黒色。後翅には大きな白斑紋をもちます。年1回、8~9月に発生。日中はクヌギを中心とした雑木林の樹幹に静止することが多く、夜間活動、樹液に飛来します。

生息環境

里山の雑木林、おもに明るいクヌギ・カシワなどの落葉広葉樹林に生息します。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヘニモンマダラ *Zygaena niphona niphona* Butler

マダラガ科

特徴

開長32mm程度。体および翅は黒色で、暗緑色の光沢があります。翅には濃色の紅色の斑紋があり、腹部背面にも紅色部があります。

生息環境

明るい草地、林沿い・田畑の土手、溜池の土手などに生息します。

国や県の分布

北海道・本州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヤマキサゴ *Waldemaria japonica* (A.Adams)

ヤマキサゴ科

特徴

殻高4.7mm~7.3mm、殻径7.9mm~12.2mm、4.5層くらいの貝です。大きさ、貝殻の色は変異（幅があること）が大きくて種を決める要素にはなりません。陸の貝ですが、カワニナやタニシのように蓋があります。年をとってくると殻皮がはがれ、白っぽくなります。ソロバン玉に似た形です。

生息環境

広葉樹の朽ち葉の間にいることが多いですが、まれにスギの朽ち葉中から見つかることもあります。石灰岩地帯のヤマキサゴは貝殻が大きくなることが多いようです。

国や県の分布

青森から九州まで広く分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒダゴマガイ *Diplommatina hidaensis* Ogaito et leyama

ゴマガイ科

特徴

殻高3.5mm、殻径1.7mm、7層の小さな貝です。塩尻市にはゴマガイ・ヒダリマキゴマガイという似た種類もあります。ゴマガイは殻高3mmと小さく、ヒダリマキゴマガイは殻高が2mmで巻き方が反対などで区別できます。

生息環境

スギや広葉樹の朽ち葉中にいます。朽ち葉の黒褐色をバックに点々という様は、胡麻をふりかけたようです。

国や県の分布

長野県と岐阜県に分布しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



マルタニシ *Cipangopaludina chinensis laeta* (Martens)

タニシ科

特徴

大きなものは、殻高40mm、殻径30mm、5層になります。類似種のオオタニシに比べ体層（貝殻の一番外側の巻いた部分）が丸く角がありません。また、注意深く観察すると、小さな孔の窪み（打痕という）が列に並んでいるのが見られます。貝殻での雌雄の区別はできません。雌は右側の触角が曲がっています。昔は味噌汁の具として喜ばれましたが、その味を知る人は少なくなりました。

生息環境

池や水田に生息しますが、まれに川から見つかることもあります。

国や県の分布

北海道南部・本州から九州・沖縄に分布。県内に広く分布していますが、分布域も数も非常に減少しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオタニシ *Cipangopaludina japonica* (Martens)

タニシ科

特徴

県下で最大の成貝は、殻高74mm、殻径44mmで6層ありました。淡水の巻貝では最大の貝です。体層が角張っているのが特徴で、幼貝はソロバン玉状で、殻頂が鋭く尖っています。マルタニシと同様貝殻で雌雄の区別はできません。

生息環境

塩尻市では溜池から、県下では水田・側溝、まれに川から見つっています。

国や県の分布

国・県ともに広く分布しています

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ヒメタニシ *Sinotaia quadrata histrica* (Gould)

タニシ科

特徴

マルタニシやオオタニシより名前の通り（ヒメは小さいとか可愛いという意味）小さいですが、成貝は殻高30mm、殻径21mm、5層になります。貝殻は黄土色で厚く他のタニシ類より丈夫です。ヒメタニシも諏訪湖の近辺ではかつては食用に剥き身として売られていたこともあったそうです。

生息環境

塩尻市では溜池と川で確認されましたが、水田や側溝に生息します。汚れた水にも強い種で、赤錆の水が溜まった側溝の中から採集したこともあります。

国や県の分布

全国に広く分布しますが、中でも関東・中部・関西地方に多い種です。県内でも広く分布しますが、数は減少しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



カワニナ *Semisulcospira libertina* (Gould)

カワニナ科

特徴

カワニナは、殻高約30mm。ゲンジボタルの餌になる巻貝です。殻高に約をつけましたが、カワニナのなかまは、大きくなると殻頂部（貝殻のおしりの部分）が欠けることが多いからです。貝殻に線が模様のようにあるもの、表面が滑らかなもの、いぼいぼが少しあるものなど、変異の多い種です。

生息環境

川・池・水田や湧き水のある水田の側溝などで見かけます。

国や県の分布

全国に広く分布し、県内でも広く分布します

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



チリメンカワニナ *Semisulcospira reiniana* (Brot)

カワニナ科

特徴

殻高40mm、殻径30mm程度で、カワニナとよく似た巻貝です。塩尻市誌には類似種として、キタノカワニナが記載されています。幼貝に違いがあるようですが、はっきりしませんが、カワニナに比べ縦筋がはっきりしていて、殻底筋（体層にある筋）の数がたくさんあるものを本種としました。

生息環境

池・水田・側溝などに生息します。

国や県の分布

青森から九州まで広く分布しますが、岐阜・愛知・京都・大阪等に多いようです。県内では広く点在します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



モノアラガイ *Radix auricularia japonica* Jay

モノアラガイ科

特徴

殻高15~20mm、殻径10~14mm、3~4層の貝です。中には殻高が25mm程度になる貝もあります。貝殻は薄く脆くて、体層がよく発達し、殻口部が広く大きいのが特徴です。類似種にヒメモノアラガイがあります。両種の幼貝の見分けは難しいですが、ヒメモノアラガイは5層になるので、螺層数が区別の目安になります。

生息環境

水田・湖沼・川などの水草上で生息します。

国や県の分布

北海道から九州まで全国に分布します。県内にも広く分布しますが、農業の散布や水田の畑作化で分布域も数も減少傾向です。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



カワコザラガイ *Laevapex nipponica* (Kuroda)

カワコザラガイ科

特徴

殻径3~5mmの笠形の貝です。殻頂（笠の頂点）は中央部よりやや後方に寄っています。貝殻の表面は滑らかで、幼貝の殻は透明で、内臓が透けて見えます。成長するにつれて、黄褐色から、場所によっては黒褐色になります。

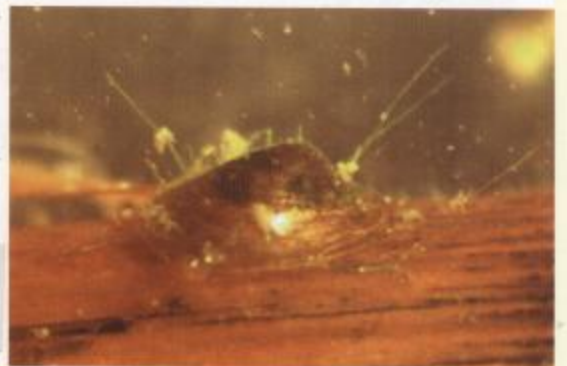
生息環境

池や水田などの止水域で見かけます。水草の茎、浮いている朽ち葉やゴミなどについていますが、余程注意深く見ないと見落としてしまいます。

国や県の分布

全国に広く分布し、県内でも広く分布していると予想されますが、未調査域が多くはっきりしていません。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



キセルガイモドキ *Mirs reinianus* (Kobelt)

キセルガイモドキ科

特徴

殻高28mm、殻径10mm、8~9層の貝です。キセルガイに似ていますが巻き方が右巻きです。和名についているモドキは、巻き方が違うことからきているのだと思います。貝殻の色は茶褐色ですが、老貝になると殻皮が剥がれ白っぽくなります。キセルガイは殻口部に閉弁といわれる弁がありますが、キセルガイモドキにはないので、乾燥してくるとカタツムリのように膜を張って身を守ります。

生息環境

山間の朽ち葉の間などにいます。本種は木に登りませんが、新潟県境にはクリイロキセルガイモドキという樹上性の種がいます。

国や県の分布

全国、県内ともに広く分布。数はきわめて少なくなっています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ハゲギセル *Pinguiphaedusa attirita attirita* (Bottger)

キセルガイ科

特徴

殻高38~40mm、殻径7~8mm、10~12層の貝です。貝殻は淡褐色をしていて、表面に弱い成長脈があり、わずかに光沢があります。成貝になると、殻頂部が欠け、尻折れ状態になるものが多いようですが、県内及び塩尻市で確認された個体でそうした現象は認められませんでした。

生息環境

朽木や落葉腐葉土中に生息するといわれています。長野県では3箇所とも、朽木の中から見つかりました。

国や県の分布

北陸・近畿・中国地方の東部に分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオコハクガイ *Zonitoides nitidus* (Muller)

コハクガイ科

特徴

殻高3mm、殻径6mm程度の平たい貝です。貝を裏返して見ると、中心部が大きく凹んで（臍孔といいます）いるのが特徴です。塩尻市では、同じように臍孔が大きく、平らなパツラマイマイという貝が、比較的多くの場所で確認されますが、本種は貝殻の表面が滑らかで光沢があります。

生息環境

サクラ等の大木の幹や、朽木、腐葉土の間に生息します。

国や県の分布

中部地方から東北・北海道にかけて分布します。県内には広く分布しますが、数は少ないです。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



コベソマイマイ *Satuma myomphala myomphala* (Martens)

ニッポンマイマイ科

特徴

殻高22mm、殻径37mm程度の鐘頭形をした貝です。体層の周縁に細い暗褐色の帯（色帯という）が一本あります。殻口縁は白色で厚くなり、広がっています。貝殻の表面は滑らかで、成貝の臍孔は閉じています。貝殻は薄く、生きた貝では軟体部が透け、貝殻に斑の模様があるように見えます。

生息環境

落葉広葉樹の多い山地で生息していますが、木には登りません。

国や県の分布

中部地方以西に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



オオケマイマイ *Aegista vulgivaga vulgivaga* (Schmacker et Bottger)

オナジマイマイ科

特徴

殻高10~13mm、殻径21~26mm。ソロバン珠を押しつぶしたような扁平な形をしていて、体層が角張り、臍孔が大きく開いた貝です。際立った特徴の一つは、名前の示す通り、貝殻の周縁に毛状の突起があることです。しかし、老貝になるとほとんどの貝で取れてしまいます。この毛状突起が貝の生活上でどのような役目をしているのかは分かっていません。

生息環境

広葉樹林の腐葉土や礫の間、畑の土手など広い範囲に生活圏をもった種です。

国や県の分布

本州・四国に分布。県内でも広く分布していましたが、近年生貝を見かけることが少なくなりました。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ミスジマイマイ *Euhadra peliomphala* (Pfeiffer)

オナジマイマイ科

特徴

殻高20mm、殻径35mm、5.5層の鐘頭形をした貝です。多くの貝で名前の示す通り、体層の周縁に3本の黒褐色の色帯が見られます。しかし、変異が大きく、全くないものもあります。最もポピュラーな種として、かつては小学校の理科の教科書にも載っていました。

生息環境

川端のクルミやサクラの木の上で生活する樹上性の貝です。山地ではあまり見かけません。

国や県の分布

関東地方を代表する貝で、関東から中部地方に分布します。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ミヤマヒダリマキマイマイ *Euhadra scaevola scaevola* (Martens)

オナジマイマイ科

特徴

殻高35mm、殻径18mm、6層弱。類似種のヒダリマキマイマイに比べ小さく扁平で、貝殻の色は茶褐色をしています。また、軟体も薄い茶褐色をしています。地上を這って生活していて、木には登りません。

生息環境

山地の広葉樹林の下に生息します。

国や県の分布

石川・岐阜・愛知・静岡・山梨など中部地方に分布し、長野県は分布の周縁地域になっています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



クロイワマイマイ *Euhadra senckenbergiana senckenbergiana* (Kobelt)

オナジマイマイ科

特徴

殻高30mm、殻径50mm程度、約6層のマイマイの中では大型の貝です。貝殻の色や色帯に変異があり、色や色帯では種を定められません。山地で確認されることが多い種です。山地の貝殻の色は黒味がかっていて、殻表に火炎彩のある美しい貝も見られます。地上で生活し、木には登りません。

生息環境

広葉樹林下、まれにスギ林下で見かけることもあります。

国や県の分布

中部地方から東北地方にかけて分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ドブガイ *Anodonta woodiana* (Lea)

イシガイ科

特徴

殻高90mm、殻長140mm程度になる二枚貝です。一般に淡水の貝で色が黒い二枚貝をカラスガイとっていたようですが、カラスガイには貝殻の内側の稜つがいの部分に後側歯があります。しかし、ドブガイには主歯も側歯もありません。また、カラスガイは貝殻の表面（後背部といわれているところ）が波打っていますが、ドブガイは平滑なことから区別されます。

生息環境

池の砂泥底に生息します。

国や県の分布

全国、県内ともに広く分布。自然分布というより、食用として移入され、広がったものが多いと推察されます。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



マシジミ *Corbicula leana* Prime

シジミ科

特徴

殻高30mm、殻長35mm程度の二枚貝で、味噌汁の貝として親しまれてきた貝です。幼貝はくすんだ黄緑色で、成貝には雲状紋といわれる焼け焦げたような斑があります。殻の内側が濃紫色になるのが特徴です。卵は体内で孵化して、親と同じ形になって産み出されます。

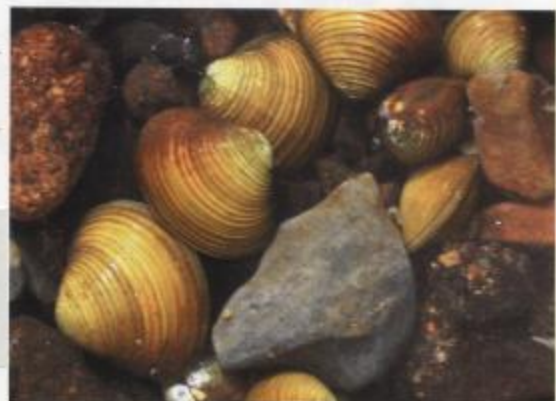
生息環境

流れの穏やかな河川の砂地に生息します。

国や県の分布

全国に広く分布。県内でも広く分布しますが、あまり数は多くありません。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ニホンマメシジミ *Pisidium nipponense* Kuroda

マメシジミ科

特徴

殻高3mm、殻長4mm程度の二枚貝です。殻長が3.2mm以上の大ききの貝になると、5~6月に殻長1mm程度の幼貝を20前後産みます。

生息環境

1,500~1,600m程度の、標高の高いところにある池から見つかっています。池にあるミズゴケや、水中の落ち葉の間にいます。

国や県の分布

全国的には中部地方に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



ハウネンエビ *Branchinella kugenumaensis* (Ishikawa)

ハウネンエビ科

特徴

水田の生物で、7月中~下旬に出現します。体長15~20mm。細長く、円筒形、殻を持っていません。体色は緑色か、淡黄色。肢は朱紅色。逆さになって泳ぎます(腹を上にして泳ぎます)。

生息環境

水田の土中に産卵してそのまま冬を越し、次年度に水田に水が入ると、孵化して幼生が見られます。

国や県の分布

国内全域に生息しています。県内では各地の水田に生息しています。アマガエルやトノサマガエルなどの水田生物とは別に、体色の緑や、泳ぎ方の特異性から話題を呼びます。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



アメリカカブトエビ *Triops longicaudatus* (Leconte)

カブトエビ科

特徴

体長20~30mmで、背面が甲状のオタマジャクシに似た形のエビです。5~6月の頃、田植え後1週間ぐらいの水田に突然出現します。イネのまわりの泥をかきわけ、その中の藻類や有機物を食べるので、雑草の防除に役立ちます。卵を土中に産み、卵は硬い殻で被われ水田が乾燥しても死なず、生息環境が整うまで何年でもじっと待ちます。アジアカブトエビ、ヨーロッパカブトエビ、アメリカカブトエビの3種いますが、全て外国から移入されました。

生息環境

水田に生息しますが、環境変化に敏感で、農薬が使われると、すぐに姿が消えます。

国や県の分布

国内全域に生息しています。県内ではアメリカカブトエビが生息しています。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



スジエビ *Palaemon paucidens* de Haan

テナガエビ科

特徴

体長55mm程度。体色は無色、透明。頭胸部に3~4条、腹部に7条の横じまがあります。4~7月に産卵します。

生息環境

河川・湖沼・溜池などに生息しています。

国や県の分布

北海道・本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



テナガエビ *Macrobrachium nipponense* (de Haan)

テナガエビ科

特徴

体長90mm、第2脚が大きく発達し、長いのが特徴です。体色は青みがかった黒褐色です。

生息環境

夜行性で、低地の河川・湖沼・池・沼に生息しています。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD



サワガニ *Geothelphusa dehaani* (White)

サワガニ科

特徴

淡水のカニで、成体の甲長は20cm、甲巾25cm。甲殻の色は赤~青~茶色と変異が大きいです。6~8月に卵を持ちます。冬の時期には食用となります。

生息環境

山間地の溪流の岩や石の下に生息しています。

国や県の分布

本州・四国・九州に分布。

塩尻市	EX EW CR EN VU NT DD
長野県	EX EW CR EN VU NT DD N
環境省	EX EW CR EN VU NT DD

